

旭ヶ丘キリストの教会  
主日礼拝順序  
2026年4月12日

司会：千田俊昭  
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖歌151「妙なるいのちの」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌394「一人の御子を」	一 同
教会学校	「明るる日のちい口バ」	牧 師
讃 美	聖歌654「一度死にし我をも」	一 同
聖書朗読	使徒行伝23:1-5	
奨 励	使徒行伝の福音(第79回)	牧 師
主 題	「落胆の時、主が…」	
讃 美	聖歌477「罪咎をゆるされ」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌378「さかえあれや」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 23:12-35	

※印のところでは御起立下さい。

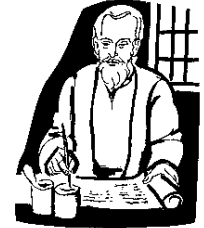
- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

4/12(日) 聖日礼拝  
/13(月)  
/14(火)  
/15(水)  
/16(木) 8:30BSF+ベル 10:聖研  
/17(金)  
/18(土) 13-16子供オプ'ハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

獄中書簡ハイライト

「クヨクヨとしちゃん達への無罪宣告」

(2026年4月5日付、吉岡利夫さんからの手紙)より

旭ヶ丘キリストの教会様 主の御名を賛美致します。  
2月17日に届いた書簡に私は心打たれ、大きな勇気と励ましをいただきました。牧師の千田さんの言葉に心より感謝です。

「消すことの出来ない自分の過去を心に留めつつ、なおその視点の方向を変えて十字架の主を見上げる時、そこに笑顔で『私はあなたを贖った。もはやあなたの罪を心にとめない』と仰って下さる贖い主なる神を見ます。私たちはこの、真の命に生かす為、赦し救ってやまない主なる神を証しすべく今を生かされているのです。」

「名前を呼んで罪を赦す」(イザヤ43:7-4)とは、裁判官である神が被告人の名前を呼んで無罪宣告をすることです。私の名前は「としあき」「としお」が吉岡さんの名前。二人とも名前に偶然「とし」を持っていますが、二人のクヨクヨ「としちゃん」に主なる神は語り掛けておられます。人間の裁判官は、有罪・無罪を決定し、法律上、罪人を必ず罰することしかできません。しかし、創造主なる神は罪人を愛し、贖い主なる御子を信じる者に無罪宣告をして、必ず真の命に生きる証しの器とし、ご自分の神の家族となさるお方なのです。」

千田さんは獄中者の私と対等に「二人のクヨクヨ『としちゃん』に主なる神は語りかけておられます」という表現に、私はマジに胸熱くなって感涙にむせびました。また昨年(2025)の12月29日に拝受した書簡の中にも記されていた「神の家族」の言葉に、私の心の琴線は強く打たれ大きく震えました。

「神の家族」は地上にあって、キリストという共通の絆によって結ばれ生きることが出来るのです。また事実として、私はお目にかかったこともない吉岡利夫さんと、クリスチャンであるということだけで親しく文通し、交流できているのですから、私達はキリストにある神の家族なのです。

獄中のキリストと者として千田さんという教会の牧師から、神の家族として受け入れていただいていることに、私は感慨無量です。ただクヨクヨ利夫として面映ゆく赤面の至りです。と言いますのは、2016年に旭ヶ丘キリストの教会の千田さんに出会って十年の歳月が流れて来ましたが、己的にはまだにキリスト者としての品性を欠き、言葉や書く文章(文言)は粗雑で乱暴な上にガラは悪く、且つ短気な気性に悩み苦しめられているからです。

神様の御前に、私の残された生涯はこれからもクヨクヨ利夫の歩みとなりますが、私の信仰はキリストの十字架の贖いと復活の福音を「信じる」という、この一事の上に立ち不変です。我生くるにあらず。キリスト我が内に在りて生きるなり！(ガラテヤ2:20) 主に在りて 吉岡利夫